

遷化法要 / 茶話会 / 夜座 / 下期会費収納会 等ご報告、報恩講 / 茶話会 / 除夜元旦会 等ご案内

いまだ青いままの巨大な銀杏の木を見上げて、いつ葉が降り始めるのかとざわざわしています。

10月の明行寺では、本堂大屋根改修工事に向けて遷化法要が勤まりました(詳細裏面)。毎月の茶話会は書道で年賀状づくり。薄墨で「巳」の字を絵的に描き、その上に「賀正」などの賀詞を小筆でのせます。お手本は同じでも、各々個性豊かな作品となりました。11月の茶話会では、整骨院の先生に各自の身体の不調を伝え、それぞれの注意点や日常の中で取り組むことができる対処法を教わり、畳に寝転がりながらみんなで実践。また、お蔭様で下期門徒会費収納会も無事に終えることができました。このお金はご門徒お一人おひとりのお財布です。3月の決算総会にて用途をご確認くださいようお願い申し上げます。

さて、12月の茶話会は、みんなで歌う合唱の会を開催する予定です。月末には例年通り竹灯籠作りと除夜会がございます。1月の元旦会にかけて、書初めもご準備します。一年の節目にぜひ一筆。その後は御開山・親鸞聖人のご命日のご法要、御正忌報恩講がございます。例年、講中・役員・蓮華の会をはじめ多くの方々の手によってお勤めされています。事前の準備を含め、別紙にて詳細をご案内しておりますのでお目通しくださいようお願い申し上げます。その他、福岡市博物館で開催されている「九州真宗の源流展」を見に行く日帰りバスツアーを企画中です(費用5,000円、先着20名の予定)。ご興味のある方はぜひ一緒くださいませ(お問合わせはお気軽に)。手洗い、うがいを忘れず、日々を勤めてまいりましょう。



巳年の年賀状を書道で



下期門徒会費収納会



脇壇壁面に描かれている蓮



現在の本堂は一面の養生



藤田先生から姿勢等の指導



巡番報恩講で導師をお勤め



夜座・蓮沼執太&ユザーン



大分・法話&弾語りのご縁

[12~1月の行事予定]

- 12月11日(日) 8時半~ 除草作業・おみがぎ(担当地域:湯谷南・北関・四ヶ中原) @明行寺 ※草刈機・軍手等ご持参を
- 12月14日(土) 13時半~ 元中通組蠟燭講御消息披露法要 @光徳寺 ※役員方がお参りの予定、お聴聞をご希望の方はぜひ一緒に
- 12月18日(水) 14時~ お取寄せスイーツ茶話会「喫茶去・明行寺」vol.34 @明行寺 ※お申込期限:12/15(日)
- 12月30日(月) 11時~ 竹灯籠づくり @明行寺 ※どなたさまも大歓迎!お持ちの方はインパクトドライバーのご持参を
- 12月31日(火) 23時半~ 除夜会・竹の灯り展 @明行寺 ※年々賑やかになっています、暖かくしてお参りください
- 1月1日(水) 10時~ 元旦会 @明行寺 ※お宮に初詣をしてもしなくても、お寺の元旦にぜひお参りください
- 1月13日(月) 8時半~ 御華束作り/境内・竹藪清掃/報恩講打合せ @明行寺 ※詳細別紙参照
- 1月15日(水) 12時~ 御正忌報恩講(昼座) @明行寺 ※御齋から一緒に(おまかない担当:四ヶ中尾・大谷)
- 19時~ (夜座) @明行寺 ※夜のお聴聞は格別、ぜひお参りください
- 1月16日(木) 12時~ 御正忌報恩講(御満座) @明行寺 ※御齋から一緒に(おまかない担当:真弓下・湯谷北・飯尾・あとさん)
- 16時~ (片付け) @明行寺 ※人手が必要です、何卒お力添えくださいませ
- 1月21日(火) 10時~ 団体旅行「九州真宗の源流展」@福岡市博物館 ※参加費5,000円、先着20名予定

[住職の出張予定] 12/7・8 お取次 @善福寺(大牟田)、12/11 宗会議員選挙 @勝萬寺(瀬高)、12/23 布教団役員会議 @福岡教堂(福岡)、1/25・26 研修会 @龍谷大学(京都)

10月9日、本堂大屋根の改修工事にむけて、お内陣のご本尊を含むお仏具を移動させるにあたり、遷化法要をお勤めしました。佛壇店さまの手によって、ご本尊をご安置する須弥壇や宮殿、お花やお線香をお供えする前卓などが次々と運ばれていく様子を門徒会・蓮華の会の役員方が見守ってくださいました。



ご本尊のみ、工事期間中の仮本堂となる門徒会館（広間）へと移動させてご安置し、門徒会・松尾眞吾会長、常日頃から並走してくださる松下佛壇店・南里さん、施工を担う寺社仏閣専門の田中建設・田中社長からご挨拶を賜りました。

「南無阿弥陀仏」のみ教えは、お称えする御名号その御六字こそがご本尊。であれば、お堂とは一体何か。その答えを今まさに、ここに、お知らせくださっている、そんなご縁が思われます。お念仏が私の口から出てくださるまでの長い長い道のりのお姿です。

現在のご本堂は、工事に向けて一面に養生が張り巡らされ、天井絵の板が抜かれた状態です（今なら見ることが出来ます）。およそ百年程度に一度のこの機会を味わってくださればとの思いから、除夜・元旦会の際、例年の竹灯りに加え「ご縁の天井絵展」と題してこの板を展示するとともに、工事に向けてご懇志を納付くださった方のお名前を仮本堂にて掲示する予定です。除夜の鐘つき、あるいは初詣に、ぜひお参りくださいませ。 称名



コラム

「『まだ一人?』 ほっといてくれ 生き方だ!」・・・3/3

「生き方」なのか

そんな背景を反映しているのが今回のカルタの句、「まだ一人? ほっといてくれ 生き方だ!」です。コップに歯ブラシが一本立っている絵は、独身生活を表しています。「付き合っている人はいないの? 早く結婚した方がいいよ」などとたびたび尋ねられると、へきえきしてしまうのでしょうか。相手が善意で心配していると怒るわけにもいかないので、内心「!」となるわけです。

「生き方だ」とばかり言えない理由も最近では考えられます。例えば、労働環境が厳しく異性との出あいやデートをする時間的な余裕がない、貧困、過疎地、家業の継承、親の介護など、個人の努力では解決できない問題もあります。

仏教の教えでは、すべてのことが「縁」によって起きると説かれています。結婚する縁もしない縁もどちらも等しく、ただその事実だけがあるわけですが、私たちはそれを優劣や勝ち負けのように分別し、他人の生き方に干渉したり、自分を評価してしまいがちです。コップの中の歯ブラシの数と幸せを結びつけて考えてしまう私たちに、「それって本当ですか」と投げかけられているのです。

今回の句は未婚、既婚、男女、親子、年齢など立場の違いによって受けとめ方が違って来るかもしれません。身近な人と話し合ってみませんか。（2014年6月掲載）

>>次回、2月の「明行寺新聞 vol.43」は新しいトピックです!



女と男のナムアマミダブツ 藤場芳子

藤場芳子師 「女（ひと）と男（ひと）のナムアマミダブツ」

1954年生まれ。真宗大谷派常讃寺副住職。解放運動推進本部「女性室」元スタッフ。同朋会館教導。真宗本廟教化教導。坊守（智美）が仏教とジェンダーについて学ぶなかでご縁を賜り、ご著作から明行寺新聞のコラムに掲載している。

明行寺HP



Instagramで
お朝勤配信中
(毎朝6時半～)



うたう
明行寺

公式LINE



ご連絡
お問い合わせ等
お気軽に